ISE の FIPS モード

目次

概要

この資料は識別 Servce エンジン（ISE）の連邦情報処理標準（FIP）対応プロトコルを記述したもので、FIP を有効に して いる間よくある問題は出会いました。 FIP は非軍事政府関係機関および政府接触器による計算機 システムの使用のための米国連邦 政府によって開発される規格です。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

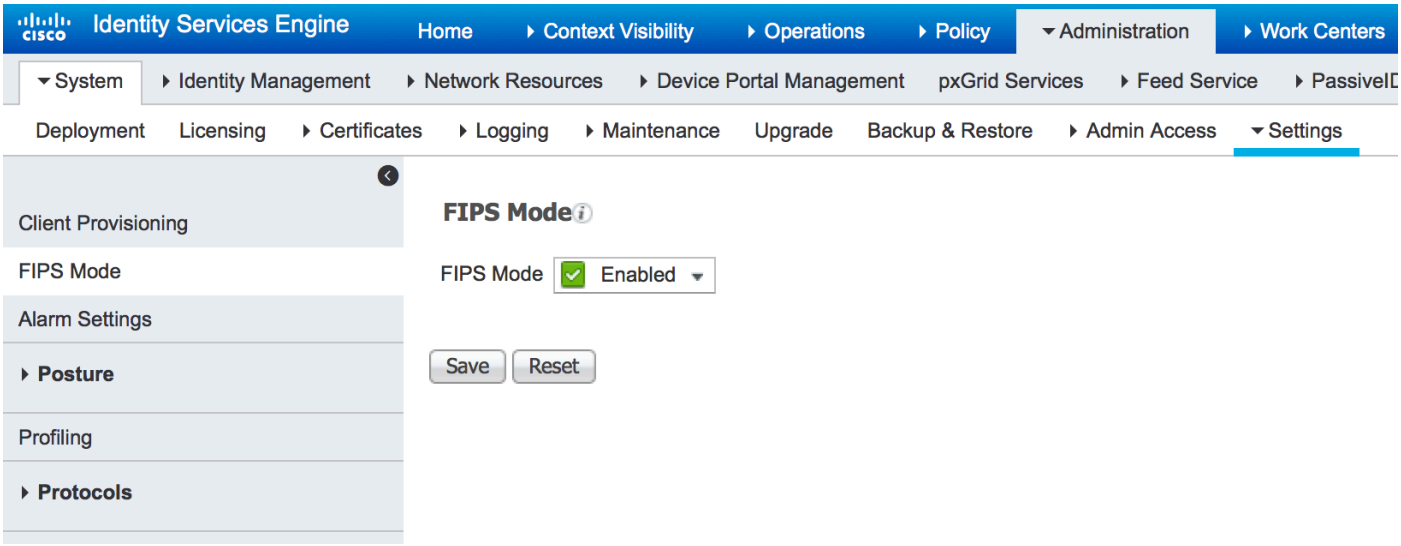
使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は ISE 2.1 バージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

ISE の FIP モードを設定して下さい

ISE 配備を確認することは対応 FIP です **Administration > システム > 設定 > FIP** に FIP モードをつける ISE にオプションがナビゲート しますあります。



このモードでは、『Protocols』 を選択 される少数ただここにリストされていて認証に使用することができます。

- EAP-TLS
- PEAP
- EAP-FAST
- EAP-TTLS

注: EAP-TLS L ビット プロトコルは対応 FIP でし、FIP モードで許されません。

注: EAP-FAST の匿名 PAC プロビジョニング オプションは FIP モードで許可されません。

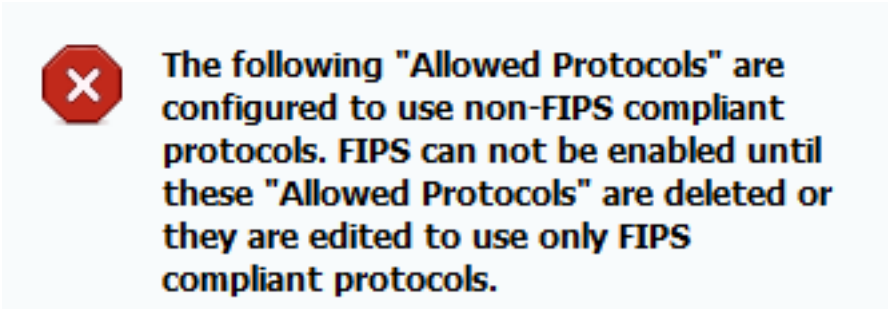
注: 認証およびプライベートキーは FIP 対応ハッシュおよび暗号化アルゴリズムだけ使用する必要があります。 プライベートキーは長さが 1024 バイトより大きいはずです。

FIP モードを有効に して いる間よくある問題

問題

非 FIPS 対応プロトコルを使用する許可されたプロトコル。

エラー メッセージ： 非 FIPS 対応プロトコルを使用するために「次の「許可されたプロトコル」は設定されます。 FIP はこれらが「許可されたプロトコル」削除されるか、または FIP 対応プロトコルだけ使用するために」。編集されるまで有効に することができません



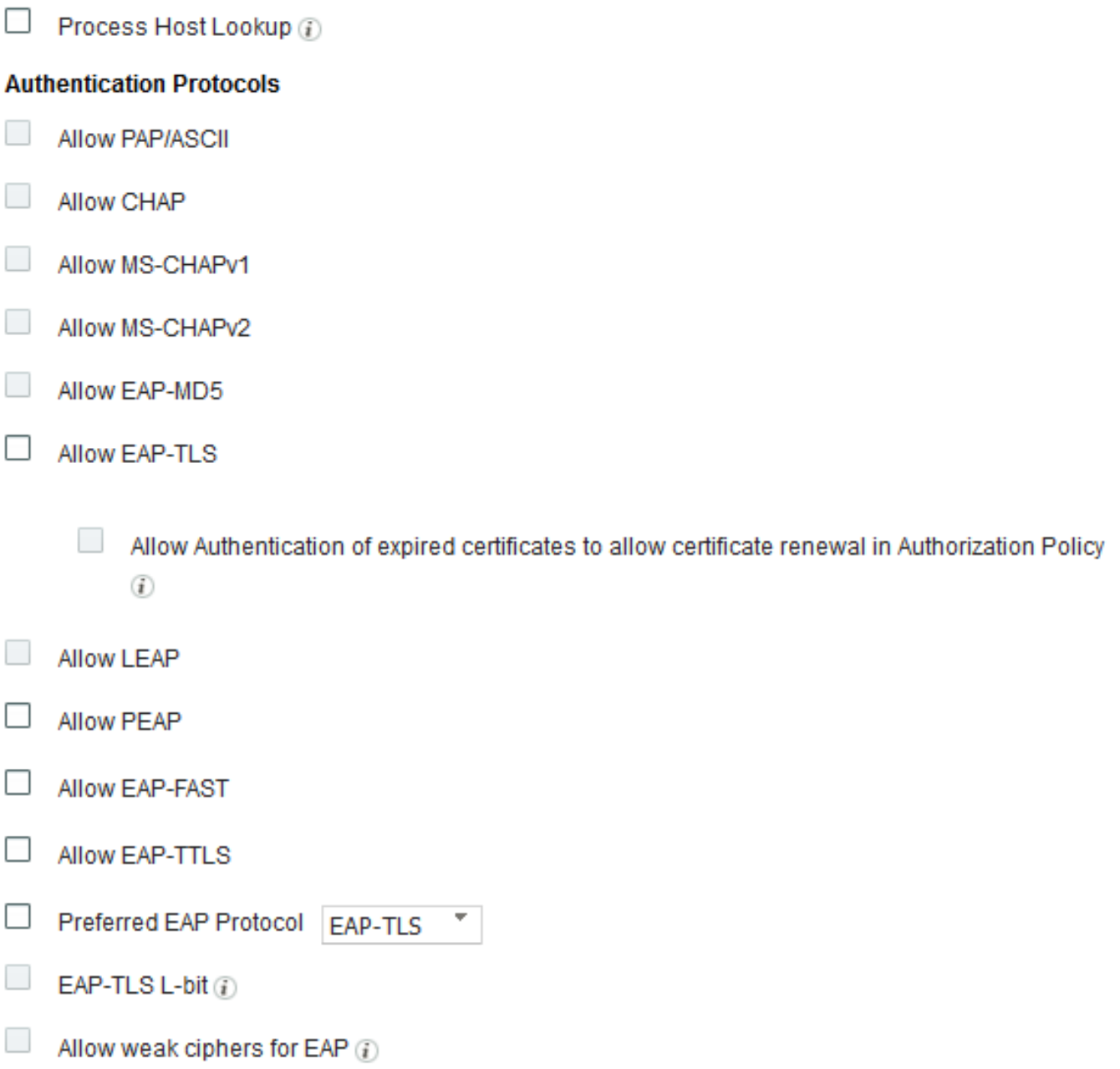
解決策

edit プロトコルが不適合なプロトコルをディセーブルにするようにしました。

ポリシー > ポリシー要素へのナビゲートは **> > 認証 > 許可されたプロトコル生じます。**

これらのサービスは FIP 不適合なプロトコルを使用しないために削除されるか、または編集することができます。

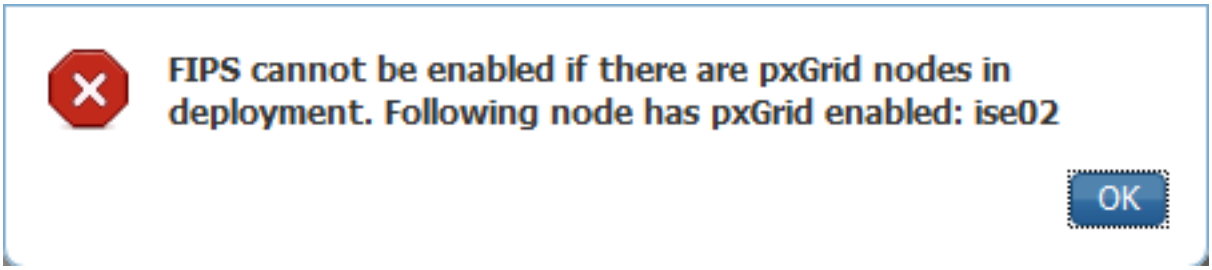
このイメージのプロトコルの選択不可能にされたチェックボックスは対応 FIP ではないです。 選択不可能にならない物だけ FIP モードで使用することができます。



問題

FIP は配備に pxGrid ノードがある場合有効に することができません。

エラー メッセージ：



解決策

すべてのノードのディセーブル PxGrid ペルソナ

PxGrid サービスは FIP 規格に適合ではないです。 それ故に、pxGrid は配備のノードの何れかで有効に することができません。

pxGrid サービスを、ナビゲート **Administration > システム > 配備**にディセーブルにするため。 エラーで述べられるノードを選択し、そのノードのための pxGrid ペルソナをチェックを外し、イメージに示すように設定を保存して下さい。